

広尾町議会 常任委員会行政視察レポート用紙

議員名 松 田 健 司

1. 今回の視察調査での重点項目は何でしたか。また、その理由は。

・釣り文化振興モデル港・指定に対する国からの助成の状況、

・広尾町に導入するには、どのような体制作りが必要か、

・道内一の面積とウオーリテーを誇るキャンプ場を視察して、

広尾町のキャンプ場をこれからどのように進めていくか、運用面

日含めの参考にすること。

2. 実際に視察してみての感想は。

・釣り文化振興モデル港に指定され、国からの金銭的存

助成は無事がやがて、振興団体との連携などに

取り組み、関連団体との協議を進めれば、実現の可能性

がある。実現できれば、町の観光資源の活性化につながり

交流人口の拡大や、経済的波及効果は大きいと感じます。

キャンプ場の現状は、近年のアーティスト人口の動向や、傾向を

知る事が出来、又、キャンプ場を長く維持管理するための

工夫も知る事が出来た。

※裏面に続く - 4.11.9



3. 今回の視察調査結果を、今後の議員活動にどのように活かしますか。

まずは、議員間での、ディスカッションを行ひ、

役場内の関連部署との情報共有を、可能な限り行ひたい、

その上で、実現性・模索は計りながら、町民の寄せに
つけてが子様の活動を行ひたい、

時にキャラ撮影の問題は、町民の街並も関心の高い事柄
たる、積極的に尚且つ、慎重に、取り組むを行ひたい。

4. その他(自由記載)

・ 鈎り振興モデル港 → モヤマ端 → 市内企業 ← サーティー、
豪猪について観光モデルを提案、通過型の観光から、滞在型の
観光へと、乗合子車による、交流人口の拡大、経済への波及、
外貨の獲得へ、次に、小供や子育て世代への投資に
つなげ、30年後にも元気町が存続する、スキームの構築。

※提出いただいた内容は必要に応じて要約等を行い、議会広報で町民に
お知らせすることとしていますので、ご了承ください。